



公益社団法人
滋賀県理学療法士会

ニュース

No.182 (2014-1)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2014. 2. 1発行

発行者: (公社) 滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-0804 大津市本宮2丁目9-9
大津市民病院 リハビリテーション部
電話 077-526-8357 FAX 077-521-5414

編集者: 島田 吉建 (甲西リハビリ病院)
山添 徹 (公立甲賀病院)
山本 裕介 (公立甲賀病院)

印刷所: (有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

年頭にあたり

会長 本白水 博



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えにいられたことに謹んでお慶び申し上げます。

平素は士会運営にご協力賜わりまして、心より厚くお礼申し上げます。

本年4月は診療報酬改正にあたり、ニュースがお手元に届くころは審議が大詰めを迎えていることと思いますが、医療・介護における理学療法士の役割について考えて行きたいと思えます。一般病床については機能分化を進め、急性期医療への人的資源の集中化を図るなど病床の機能分化・強化を図るとされています。特に高度急性期病床に対するリハビリテーションの理念が入っていないため、ここに理学療法士が早期から廃用症候群や2次の合併症を予防し、呼吸管理や転倒転落などの取り組みがなされ、自立支援に向けた効果を示すかが問われています。今後は、理学療法士の配置基準の見直しにより、病棟配置の理学療法士や急性期病床での365日対応が必要となると予測しています。また、特定領域の急性期医療における質の高い理学療法プログラムを立案、実施または他の理学療法士に指示を行う「特定理学療法士(仮称)」を確立して、医師からの包括的指示を具体的な理学療法プログラムとして立案、実施することも検討されています。

もう1つの大きな課題は、平成27年度介護報酬改正に伴う地域包括ケアの積極的な参画です。今後の流れは、病院・施設から在宅へ、医療から介護へ、急性期を手厚くして在院日数を減ら

し在宅医療に重点を置くとされています。重点化施策としては、1) 医療介護連携、2) 認知症対策、3) 地域ケア会議への参画、4) 生活支援(自助、互助の育成)、5) 介護予防であり、介護予防については、今後予防給付が地域支援事業に包括されることを考えると大きなチャンスです。我々も施設(病院)内に留まっていたは乗り遅れます。平成26年度中に大枠としてのスケジュールが進行しますので、早期に実施機関である市町に対し理学療法士の必要性を訴えることが不可欠となります。(いつやるか、今でしょ)そのためにも平成26年度は、地域包括ケア推進に向けた人材育成の推進を図らなければなりません。

さて、昨年暮れに発表された流行語大賞の一つに「おもてなし」が選ばれました。(じえじえ)英語では「ホスピタリティ」ともいわれホスピタルとしての病院という言葉の基本でもあります。ちなみに「サービス」とは、物事を提供する側とされる側の主従関係が存在するといわれています。一方的に与える(提供者が最善と思われる)サービスだけでなく、対象者に本当に喜んでいただける、気持ち元気になるような「おもてなし」の精神をもった対応が必要になるのではないのでしょうか。人は「動けるから動く」のではなく「動きたいと思うから動くのである」といわれるように、動きたいと思われるような心配りを持つことが求められているように思います。毎日多くの患者さんを担当し、会議やカンファレンスに追われることが多い中、時々「おもてなし」の5文字を思い出してください。

皆様方の益々のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。平成26年1月吉日

平成 25 年度第 4 回公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録 (要約)

開催日時：平成 25 年 10 月 10 日 (木)

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

出席理事 本白水博 平岩康之 松岡昌巳 宇於崎孝 弘部重信 久保貴弘
石井隆 町本高章 酒井英志

出席監事 前川昭次 現在理事数 11 名 監事数 2 名 **欠席理事** 2 名

議長 本白水博 (定款の定めによる) 定足数 確認

18 時に理事本白水博が開会を宣し、本日の理事会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

○報告事項の経過の要領

1, 各部各委員会の報告

(1) 事務局 平岩理事より報告

- 1) 会員管理 会員数 755 名 (うち自宅会員 90 名) 施設数 113 か所
- 2) 財務関係 特になし
- 3) ホームページ、facebook 関係 特になし
- 4) 滋賀県総務課による立ち入り検査 10/18 に決定。場所：滋賀医大リハビリテーション部
- 5) 9/22 都道府県事務局長会議 田町カンファレンスルーム 平岩理事出席

①報告内容

a、平成 26 年度日本理学療法士協会重点課題説明

- ・政策企画、職能、など：予防、学校保健、地域への介入が必要。
- ・広報、総務重点概要説明：従来の理学療法士のイメージを払拭するイメージ戦略
- ・学会重点事業概要説明：理学療法の標準化
- ・生涯学習重点事業概要説明：会員の生涯学習を支援するモデル事業など

b、研修事業の業務委託推進

c、都道府県からの意見交換

- ・各都道府県からの意見をまとめた資料をもとに意見交換がなされた。
- ・近畿からは、共通要望として、近畿

学会の講師料源泉徴収事務を協会で行ってほしいと要望した。この件に関して、協会はブロックのあり方を検討していく予定だが、数年かかる、現在は対応できないとのこと。ブロック活動については各ブロックの自主的活動として、協会主催からは切り離していきたい考えのようであった。各士会からの要望意見などは後日正式に文書で回答があるとのこと。

・その他

来年度以降、事務局長以外の担当者の全国的な会議を開催し、士会との連携を密にしていきたいとのことであった。

(2) 広報部 石井理事より報告

1) 士会ニュース 10 月号発行

・生涯学習部より原稿修正があったが、印刷製本には間に合わず。

内容：誤「第 2 回新人研修会」 正「第 3 回新人研修会」

(3) 厚生部 石井理事より報告

1) フットサル大会 10 月 5 日 (日) エントリー 14 チーム

レクリエーション保険 (350 円 / 1 人) 加入手続き

2) 企画事業決算

①写真コンテスト：20,658 円 (予算 20,000 円)

②会員企画事業：47,853 円 (予算 80,000 円)

(4) 研修部 宇於崎理事より報告

1) 開催済み事業

①事業名：第3回研修会

テーマ：『股関節疾患に対する評価とトレーニング方法』

講師：南角学先生（京都大学医学部附属病院）

日時：2013年9月15日（日）13時30分～15時30分

会場：ピアザ淡海 大会議室

参加者：合計102名（会員85名、県外会員15名、会員外2名）

2) 開催予定事業

①事業名：第4回研修会

テーマ：『高次脳機能障害を呈した脳血管障害患者における運動療法の進め方』

講師：大村優慈先生（国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科）

日時：平成25年12月8日（日）10:00～15:00

会場：滋賀医療技術専門学校

特記事項：講師より前回のようにカラー印刷でお願いしたいと申し出があり、配布資料のデータが届きしで、前回と同様で近江印刷にて見積もりを立てて頂き依頼する予定である。

(5) 講習会事業部 宇崎崎理事より報告

1) 第20281回 テーマ臨床解剖学的視点による脳卒中のとらえ方とアプローチ
受講申込者数 155名 受講者数 133名
次年度よりは協会から受付員派遣される予定。

(6) 生涯学習管理部 特になし

(7) 生涯学習部 町本理事より報告

1) 実施：第2回新人研修会 平成25年8月25日（日）ピアザ淡海会議室

2) 予定：第3回新人研修会 平成25年12月1日（日）ピアザ淡海会議室

(8) 学術誌部 弘部理事より報告

昨年と同程度の原稿数集まっている。査読委員会にて査読を行う。

(9) 教育部 弘部理事より報告

助成研究4件応募あり

(10) 診療報酬部 柴田理事より報告

報告なし

(11) 介護保険部 酒井理事より報告

11月10日 介護従事者意見交換会 現在応募者少ない。3士会合同研修会は中止の方向。

(12) 職能部 松岡理事より報告

特になし

(13) 保健福祉部 松岡理事より報告

部員内での勉強会を実施。

(14) 公益事業部 酒井理事より報告

以下の行事に参加予定である。参加者募集中。

① 10月20日 2013 おおつ健康フェスティバル

② 11月16日 17日 第3回おうみおしごと体験フェスタ

2. その他

(1) 10月6日（日）琵琶湖コンソーシアム

(2) 10月12日（土）TPPの集い

(3) 10月19日（土）びわこ学園50周年記念式典

(4) 協会災害研修 今年度欠席

(5) 協会倫理研修 石井理事

(6) 県アンケート POST 人材育成に関すること

(7) 10月27日 健康づくり財団からがん対策推進イベント

成人病センターのスタッフ3名でブースを設けていただく予定。

(8) 協会選挙管理委員に済生会病院小澤先生を推薦。

(9) 11月17日奈良士会法人化20周年記念式典 本白水会長出席予定。

(10) 滋賀県公衆衛生学会の演題募集案内を折り込みで行う予定。

○その他 本白水会長より報告

1. ブロック化について

拡大理事会等で必要性説明していく。来年度は一つでもブロックで行う事業を行いたい。

2. 次年度総会について

第一回研修会時に行う予定。次年度は役員改選の年となっている。

3. 事業計画、予算及び拡大理事会について

例年通り12月に滋賀医大で拡大理事会を行

う予定。事前に事業計画、予算計画作成を各部部長、委員長に依頼する。

4. 表彰担当について

事務処理は当面事務局で行う。推薦者については理事会で選定する。

5. 会員の不祥事等

交通事故等で実刑以上の刑を受けた場合には協会に報告。該当者一名あり。懲罰等については協会に従う。

6. 事務局郵送物などの保管が場所的に難しく、不要なものは処分し、必要なものは滋賀医療技術専門学校で保管してもらう。

○理事の意見等

1. 不祥事再発予防のため、会員に綱紀粛正を求める必要がある。研修の中でも倫理、人権については強化する必要がある(本白水会長)。
2. 士会活動中の事故等に係る保険について情報収集を行い、よいものがあれば次年度

予算に組み込みたい(平岩理事)。

○議事の経過の要領及び議案別議決の結果

議案1 次年度総会時期について 平岩理事より説明

決算、監査、総会資料配布、のタイムスケジュールから考えると、例年通り第一回の研修会を行う時期が適当であり、次年度も同様の時期に行いたい。5月2週又は3週目の日曜日。

質疑 総会参加者の数が少ないことに対して対策が必要か。(石井理事)

他府県の士会も総会参加者は少ない。また、総会はもめごとなくスムーズに執り行われるものであると指導されている県もある。研修会と別の日に設定するとより参加者が少なくなる可能性もある。(本白水会長)

議決：議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

平成25年度第5回 公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録

開催日時：平成25年12月12日(木)20時00分から21時00分

開催場所：滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

出席理事 本白水博 平岩康之 松岡昌巳 宇於崎孝 弘部重信 久保貴弘 石井隆
町本高章 酒井英志 柴田健治 川崎浩子

出席監事 前川昭次 現在理事数11名 監事数2名 欠席理事

議長 本白水博 (定款の定めによる) 定足数確認

20時00分時に理事本白水博が開会を宣し、本日の理事会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

○報告事項の経過の要領

1. 各部・各委員会報告

(1) 総務部 平岩理事より報告

- 1) 会員管理 会員数 749名 11/25現在
施設数 114か所
- 2) 財務関係 特になし

3) 法人運営

①10/18県の立ち入り検査 会長、平岩、小澤税理士、小澤事務所職員、士会事務員の5名で対応した。後日県より年次報告書の修正依頼有、修正を行った。

また、滋賀県公益法人等認定委員会より、立

ち入り検査の結果、適当であるという通知をいただいた。

4) ホームページ 特になし

5) 表彰関係 公衆衛生事業功労者 該当なし 協会長賞 該当なし

(2) 広報部 石井理事より報告。

士会ニュース12月発行 校正に時間を要し、若干遅れる見込み。理事会報告の投稿方法の検討が必要。

(3) 厚生部 石井理事より報告

フットサル大会で負傷者あり、傷害保険請求した。

保険の対象や期間、対象事象が起こった場合の対応など、保険者からの定款等を各参加チームへ配布し、厚生部は報告を受ける。開会挨拶時に注意喚起する。

(4) 市民公開講座実行委員会 酒井理事より報告。

市民公開講座を平成26年2月24日に栗東駅前ウイングプラザで行う予定。

(5) 診療報酬部 柴田理事より報告。

診療報酬に関する情報交換会を4月8日に野洲で実施する予定。

2. その他の部署に関しては、理事会前に開催された部長会で各部長、委員長に報告したために省略。

3. 生涯学習管理部 川崎理事より報告。

協会より e-learning のモニタ依頼あり、対応する。

4. 管理者研修会 本白水会長より報告。

平成26年2月8日 G ネットしがで行う予定。案内と申込書を1月の折り込みで配布する予定。

5. その他

11月2日 全国倫理担当者研修会 石井理事より報告

石井理事が出席。内容は接遇教育的なものであった。

○理事の意見

1. 理事会報告についてはいったん石井理事にニュース用原稿を送付する。(石井理事)

2. 保健福祉部が次年度計画しているピラティスの勉強会は、対象を部員だけでなく

広げることはできないか。また、それらの勉強を行ったことを具体的にどのように公益事業に活用するのかご検討いただきたい。また、ピラティスを士会として普及すべきものなのか検討した方がよいのではないか。(石井理事、宇於崎理事、弘部理事)

3. 県内統一脳卒中連携パスが使われようとしているが、準備段階から理学療法士会が関わっていない。今後関わっていくべきではないか。(柴田理事)

○議事の経過の要領及び議案別議決の結果

議案1 次年度事業計画、予算計画について (平岩理事より説明)

部長会でヒアリングを行った結果を基に、次年度計画予算案を作成する。事業計画案、予算案をメーリングリストに流し、各理事の意見を求めた上で修正し、次回第6回理事会で決議していただきたい。

議決：議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

議案2 理学療法士協会の倫理担当者を鈴木博人氏(近江八幡医療センター)で協会本部に登録されている。変更なしでよろしいか。(石井理事より)

議決：議長が賛否を議場に諮ったところ、満場一致を持って異議なく可決した。

○監事の意見

とくになし。

役員選挙告示

選挙管理委員会 委員長 小澤 和義

公益社団法人滋賀県理学療法士会役員の任期満了にともない、きたる平成 26 年度定期総会において、定款第 4 章、第 22 条の規定により役員選挙を行います。

なお、選ばれた理事のうち 1 名を会長、会長以外の 3 名を副会長とする。会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選任する。

選挙すべき役員名と定数：理事 11 名、監事 2 名。

選挙期日：2014 年（平成 26 年）定期総会において。

立候補受付期間：告示より 2014 年（平成 26 年）2 月末日（郵送による当日消印有効）までとします。なお、立候補受付期間締め切り後の届け出は一切受け付けません。また、所定の様式を満たしていない場合は無効とします。

立候補届の様式：

- 1) 立候補者本人による立候補の場合は、「様式第 1 号」に基づき作成して下さい。
- 2) 推薦による立候補の場合は、「様式第 2 号」に基づき作成して下さい。
- 3) 「様式第 1 号」、「様式第 2 号」とも A4 版の大きさとし
（滋賀県士会ホームページよりダウンロードできます。）

立候補届の郵送先：立候補届は手元にコピーを残し、下記に郵送して下さい。

〒520-3046 栗東市大橋 2-4-1

済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科 小澤 和義 宛

会長行動録

10 月 29 日（月）県医療審議会

11 月 2 日（土）近畿ブロック士会長会議

11 月 3 日（日）第 53 回近畿理学療法学会大会

11 月 8 日（金）士会三役会

11 月 10 日（日）介護従事者意見交換会

11 月 17 日（日）奈良士会公益社団設立記念式典

11 月 21 日（木）介護給付費審査委員会

12 月 10 日（火）県三士会長会議

12 月 12 日（木）拡大理事会

12 月 13 日（金）県リハビリテーション協議会

12 月 14 日（土）協会役員、士会長懇談会

12 月 15 日（日）協会組織運営協議会

12 月 22 日（日）協会グランドデザイン特別委員会

12 月 24 日（月）おおつ健康フェスティバル委員会

第 29 回滋賀県理学療法学会のご案内

日時：平成 26 年 7 月 13 日 (日) 予定 9:00 ~ 16:45

場所：豊郷町豊栄のさと 文化ホール 予定

滋賀県犬上郡豊郷町四十九院 1252 TEL:0749-35-8010 FAX:0749-35-8021

参加費：会員・学生・一般…無料 会員外…500 円

内容 (予定)：

午前の部

○一般演題発表

○シンポジウム

午後の部

○公開講座 千住 秀明 先生 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻教授
リハビリテーション科学講座 内部障害リハビリテーション学分野)

○教育講演①中島 亮 先生 (滋賀医科大学 整形外科 リハビリテーション科 助教)

○教育講演②白星 伸一 先生 (佛教大学 保健医療技術学部 理学療法学科 准教授)

お問い合わせ

第 29 回滋賀県理学療法学会準備委員会本部

公益財団法人 豊郷病院リハビリテーション科 吉田・磯崎まで

TEL:0749-35-3001 (代表) FAX:0749-35-2159

メール:toyosato.rha@toyosato.or.jp



第29回滋賀県理学療法学会 一般演題募集

開催日時:平成26年7月13日(日)(予定) 会場:豊郷町豊栄のさと 文化ホール(予定)

演題募集要項

[1] 今大会の演題発表概要

一般演題の発表形式は原則「口述発表」のみ(発表時間7分)とさせていただきます。応募数多数の場合は、ポスター発表での演題発表をお願いする場合がございますのでご了承ください。

[2] 応募期限(演題登録期限)

応募期限は平成26年3月14日(金)17:00です。

[3] 応募資格

筆頭演者は、公益社団法人 滋賀県理学療法士会会員に限ります。

[4] 応募方法

今年度は抄録の投稿をもって受付いたします。下記E-mailアドレスまで必ず氏名(ふりがな)・所属・連絡先(住所・TEL・FAX・E-mail)を明記し、抄録原稿を添付して件名を添えてお申込み下さい。

[5] 応募上の注意

演題は、未発表のものに限ります。応募された演題(抄録)と当日の発表内容が大幅に変わることのないようお願いいたします。ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認下さい。

[6] 演題審査及び決定通知

演題の採択は、本学会大会準備委員が定めた演題審査員(査読者)による審査結果を参考に大会長が決定いたします。結果は平成26年4月中旬までに応募者のメールアドレス宛に通知いたします。

[7] 口述発表用スライドについて

採択結果決定後、平成26年6月27日(金)17:00までにファイル保存し、CD-Rにて下記住所宛てに郵送して下さい。スライドデータ作成はどのバージョンのPowerPointを使用して頂いても構いませんがWindowsPowerPoint2007にて動作できるファイル形式で保存をお願いします。必ず、他のパソコン機器にて動作確認をお願いします。

[8] 抄録の作成

・抄録集の事前配布を予定しています。演題名、演者名、所属、キーワード(3つ)、本文の順でWindows版Microsoft wordにて作成し、電子メールの添付ファイルにて送付して下さい。

・様式は、縦A4用紙に横書きにて、一行の文字数は26文字以内、行数は50行以下とし、印字範囲が横8.5cm、縦25.0cmの長方形におさまるように配慮して下さい。

・フォントの大きさ・種類は、演題名は12ポイント:MSゴシック他は、10.5ポイント=MS明朝に設定して下さい。

・本文には【目的】、【方法】、【説明と同意】、【結果】、【考察】、【まとめ】などの小見出しをつけ、文字数は全角換算(半角英文字は2文字で一文字換算)で、1000文字以内として下さい。

・機種依存文字、外字は使用しないで下さい。

・図表は抄録に含めないで下さい。

・抄録中に倫理規定に関する記述が無い場合には登録できませんので注意して下さい。

[9] 公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載

公益社団法人 滋賀県理学療法士会誌への掲載・投稿を推薦する場合があります。

[11] 発表演題申込みおよび抄録の問い合わせ先

医療法人 恭昭会 彦根中央病院

リハビリテーション科 篠田 恭一

〒522-0054 彦根市西今町421

TEL:0749-23-1211(代表)

FAX:0749-24-5405

E-mail:

hikonechuoh.29ptgakkai@gmail.com

第4回滋賀県がんのリハビリテーション研修会

日時 平成26年(2014年) 2月22日 13:30～16:30

場所 彦根市立病院 医療情報センター

内容 ①基調講演 13:30～14:10

「(タイトル未定) 転移性骨腫瘍患者の治療とリハビリテーションについて、がんのリハビリテーションにおける多職種連携や地域連携について)」

②県内のがん診療連携拠点病院における取り組み

大津赤十字病院 滋賀医科大学医学部附属病院 公立甲賀病院 彦根市立病院
市立長浜病院 県立成人病センター (順不同)

対象 医療従事者

第2回 公益社団法人滋賀県理学療法士会 公開講座

テーマ：痛みの少ない身体づくり ～自宅で出来る腰痛予防体操～

講師：一般社団法人競馬共助会 栗東診療所

理学療法士 久田 信彦

日時：2014年2月24日(月) 14:00～16:00

場所：ウイングプラザ4階 研修室C JR琵琶湖線 栗東駅東徒歩3分
駐車場も4時間まで無料です

受講料：無料

申込方法：次の①～⑤の事項明記の上、FAX およびメールの件名を「公開講座申し込み」として、送付して下さい。①氏名(ふりがな) ③年齢(学生の場合は学年も) ②性別④住所⑤電話番号を以下の2つの方法でお願い致します。

先着30名とさせていただきます。詳しくは士会HPを御覧ください。

(1)FAX番号 0748-36-5476

(2)電子メール riha1@vories.or.jp

問い合わせ先：滋賀県近江八幡市北之庄町 492

公益財団法人近江兄弟社ヴォーリス記念病院リハビリテーション科
安居(ヤスイ)まで TEL：0748-36-6007

平成 25 年度 (公社) 滋賀県理学療法士会 第 4 回研修会報告

- 日 時：** 2013 年 12 月 8 日 (日) 10 時 00 分～ 15 時 00 分
会 場： 滋賀医療技術専門学校
テーマ： 『高次脳機能障害を呈する脳血管障害患者における運動療法の進め方』
講 師： 大村 優慈 先生 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部)
参加者： 86 名 (会員 65 名、県外会員 16 名、会員外 5 名)

今回は高次脳機能障害を呈する脳血管障害患者における運動療法の進め方というテーマで講義していただいた。

臨床では高次脳機能障害が生活上問題となる症例を多々みることがある。このような症例にどのような工夫をすれば良いのか私自身悩むことが多い。高次脳機能障害は OT と ST の分野だから…と思っていた学生の頃を思い出すと恥ずかしくなるが、今では PT も高次脳機能障害と関わる者として、対応の仕方を知っておく必要があると常々痛感する。

今回の研修会では基本の機能解剖のお話から臨床応用まで詳しく教えていただいたため、臨床ですぐに使えるようなテクニックも学ぶことが出来た。また高次脳機能障害も ICF の考え方と同じように、残された部分を最大限に活かす工夫していくことの大切さを学べた講義であった。今までは、「この人は注意障害だから」「あの人は失行だから」と、ネガティブな因子として運動療法を進められない言い訳の様にしていたが、これからは「この方向には注意が向けられるから」「物体認知は良好だから」と、ポジティブな因子として見ていくようにしていきたいと考えさせられた。今回学んだ知識を明日からの臨床に繋げていきたい。

守山市民病院 岡本 昌信

第3回おうみしごと体験フェスタに参加して

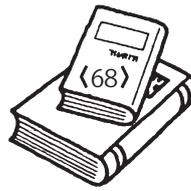
平成 25 年 11 月 16 日 (土)・17 日 (日)、米原市にあります米原文化交流会館にて「第 3 回 おうみおしごと体験フェスタ」が盛大に開催されました。晴天にも恵まれ、多くの子供たちに参加して頂きました。

子供たちに理学療法士の仕事内容を伝えた後に実際に筋力や柔軟性の評価、トレーニングやストレッチなどの治療を体験して頂きました。なかにはセラバンドではしゃぐ男の子や初めて白衣を着て喜ぶ女の子がいてとても良い雰囲気でおしごと体験して頂いたと思います。この「おうみおしごと体験フェスタ」を通して多くの子供たちに理学療法士の仕事内容などに興味を持って頂くきっかけとなれば幸いです。

公立甲賀病院 井上 将太

こんな本

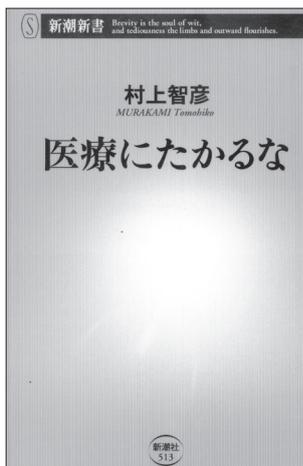
読みました!



大津市民病院
並河 孝

【題名】
医療にたかるな

【著者名】
著者:村上 智彦
NPO法人ささえる医療研究所理事長
【出版社名】
新潮社



財政破綻した夕張市の医療再生に取り組む医師が執筆した書で、過激な題名であるが、内容はいたって明解(明快)で読みやすい。夕張市の医療崩壊は、行政の旧態依然とした既得権益の問題と夕張市独特の住民の依存体質を問題としている。夕張市は北海道にあり、滋賀県とは離れているので、他人事のように感じる。夕張市は、炭鉱の町として発展してきた歴史があり、最もお金持ちで栄えている地域の時期があったようです。夕張の石炭は黒いダイヤと呼ばれ、戦後の復興を支える貴重なエネルギー源として重宝され、夕張の街明かりが遠くからも見えたと言われるくらいの賑わいだったようです。落盤事故等の危険があり、その作業の代償として、家賃・暖房費・水道代・映画館・医療まで無料で提供されていて、すべて会社丸抱えが当たり前という権利意識だけが、石炭産業衰退した今でも残っている。そのような状況も、財政破綻とつながっていった原因であり、住民の意識改革の必要性が述べられている。また、大きい病院を建てて医者呼んだからといって、住民の寿命が延びるのではなく、住民の健康意識(生活習慣)が変わることが大切と述べている。自治体病院が赤字になっても予防医療を行い、国保財政が黒字になった方がいいのではないかと訴える。日本の医療をムダの多い過剰投薬・過剰検査(いずれ『過剰リハビリ』と言わ

れる:個人の感想)から予防医療にシフトするべきと述べている。『安全』は社会保険で守り『安心』は自己負担で守るべきと訴えていて、著書が医療人に投げかけられた矢に、我々は的確に反論できるであろうか。是非ご一読頂きたい。

彦根中央病院
森田 早貴

【題名】
人生で最高の1日

~極上のハッピーに包まれる旅のストーリー-88選~
【著者名】
著者:高橋 歩
【出版社名】
発行:中央精版印刷株式会社

普段本を全く読まない私は、これを機に本を読もう!と思ったのですが、細かい字を見ているとどうしても集中力が持たない。眠たくなる。難しい本は苦手。

何か読みやすい本はないかと、本屋に立ち寄ってみると、吸いこまれるようにこの題名に惹かれました。手に取ってみると「ヒトはどうして旅に出るのだろうか?」という問いかけが真っ先に目に飛び込んできました。旅行や自然が大好きな私は迷

わずこの本に決めました。この本は、88人の人が語ってくれた、旅先で出逢った「人生で最高の1日」を集めた本で、旅先へのアクセス方法やガイド情報が丁寧に紹介されています。見開き1ページ毎に様々な国や地域、景色が紹介されており、紹介文と共に大自然や街並みの写真も掲載されていて、まるで世界各地を旅行した気分になれる一冊です。日本は沖縄から、聞いたことのないような地域まで、それぞれの旅の目的や感想なども赤裸々に記載されています。紹介ページ毎に異なる白くまのイラストにも注目です。

旅行が好きだけれど、そんな時間がない。旅行に行きたいけれど、どこに行きたいか決まらない。そんな時にはこの本を読んで、ちょっと旅行に行った気分になったり、旅行先の候補を探してみたいかならうか。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

✓ 事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

✓ 入会 異動 財務関係 メーリングリスト登録 公文書発送

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになりました。
<http://www.japanpt.or.jp/>

info@shiga-pt.or.jp 担当：滋賀医大 平岩 TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、
本文には、氏名、所属施設、会員番号（新入会の方は必要ありません）を記入して平岩まで
メールしてください

士会員メーリングリストアドレスshigapt-ml@freeml.com

✓ 発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出ください

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。
各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

✓ ホームページ原稿受付

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

✓ 士会ニュース原稿受付

shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

✓ 研修関係 研修部

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリス記念病院 清岡

✓ 介護保険部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院訪問リハビリテーション事業所 深江
電話/FAXは0748-62-3081

✓ 診療報酬部

reha-station@373932hp.jp 担当：南草津病院 岡村

F A X : 077-562-2253 T E L : 077-562-0724 (代)

✓ 生涯学習関係 生涯学習管理部

m-ikeya@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 池谷

TEL 0749-46-2322

✓ 厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

事務局 だより

2月分

- 会員数 775 名 (平成 25 年 12 月 25 日現在)
- 賛助会員 6 社

会員異動に関して

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、PT 協会のホームページ (マイページ) にてお手続きください。PT 協会では紙申請の廃止の方向にすすめているようです。

マイページ上で手続きが困難な場合は従来通りの異動届を下記問い合わせ先まで送付してください。本県土会の送付先は事務局ではありませんのでご注意ください。

異動手続きを怠りますと協会や土会からの発送物をお届けできないばかりか、転居後新しい住民の方にご迷惑をおかけしますのでご協力お願いいたします。

日本理学療法士協会ホームページ
<http://www.japanpt.or.jp/>

発送物に関して

発送物は 6 月発送物から会員区分が施設の方は所属施設の方へ発送することになりました (PT 協会からの発送物を除く)。

新入会員様への発送物は協会では正会員に登録されてからになりますので、入会申込のタイミングによっては 3 か月程度してからになる場合がございます。ご了承ください。早めの入会をお勧めします。

会費未納の方へ

PT 協会主催の研修会、学会等が会費未納であると受けられないことがありますのでご了承ください。協会から督促が来た場合には速やかにお支払いください。尚、行き違いがある場合は下記問い合わせ先にお知らせください。

会員異動、会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院
リハビリテーション部 平岩康之 宛
問い合わせ info@shiga-pt.or.jp



編集後記



2014年、皆さま新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか？

4月には、診療報酬改定が控えています。消費税も上がりますので、なかなか思うような改定にはならないかもしれませんが、希望を持ちながらこの編集後記を書いております。

どのような改定であっても、患者様が置き去りにならないよう、まっすぐ向き合っていきたいものです。

皆さま、今年もよろしくお祈りいたします。

広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

http://www.aino.ac.jp